



2023年8月14日

各位

会社名株式会社スカラ
代表者名取締役代表執行役社長 榑野 憲克
(コード番号: 4845、東証プライム)
問合せ先 経理部長 上代 大輔
(TEL 03-6418-3960)

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2023年5月15日に公表いたしました通期連結業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年6月期通期連結業績予想と実績の差異 (2022年7月1日~2023年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,000	百万円 300	百万円 280	百万円 195	百万円 200	円 銭 11.55
実績 (B)	12,644	259	233	△213	△218	△12.62
増減額 (B-A)	△355	△40	△46	△408	△418	
増減率 (%)	△2.7	△13.5	△16.5	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	9,569	△191	△210	△526	△523	△29.66

2. 差異の理由

2023年6月29日に公表いたしました「連結子会社の異動(子会社株式の譲渡)に伴う減損損失の計上並びに個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、株式会社コネクトエージェンシーでは大規模案件の獲得が想定通り進まなかったこと、またジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社では、本業である価値創造経営コンサルティング領域において当初計画していたクライアント獲得には至らなかったことにより、将来の収益性確保に影響が生じる事態となりました。

そのような中、当社グループにおける事業の優先順位の見直しおよび選択と集中の観点など、総合的

な判断から将来のグループ収益性を高めるべく、両社の株式譲渡を実施するに至りました。

その結果、非継続事業へ分類されることに伴い、売上収益、営業利益及び税引前利益の実績値から控除されていると共に、非継続事業としてのれん減損損失が 365 百万円生じたことにより、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益において想定を下回る結果となりました。

なおこの現状を踏まえ、今後の注力事業分野と収益性向上について改めて見直した中期経営計画「2024-2026」を本日公表しましたので、ご参照ください。

https://scalagr.jp/pdf/ir/release/midtermplan_20230814.pdf

以 上